



No.192

心臓財団 季報

● 財団法人日本心臓財団 ●

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 835 区-A

○ Tel 03-3201-0810 ○ Fax 03-3213-3920 ○ e-mail: info@jhf.or.jp ○ http://www.jhf.or.jp/

September 10, 2008

2008年 世界ハートの日

自分に潜むリスクを知ろう! (Know Your Risk!)

全世界の死亡原因の第1位を占める心臓病と脳卒中を予防するため、これらの疾患の危険因子に多くの関心と呼び起こし、予防の重要性を普及させることを目的に、世界心臓連合は9月の最終日曜日を「世界ハートの日」として制定しました。

今年は9月28日が「世界ハートの日」であり、この日を中心に、世界各地で心臓病予防キャンペーンが開催されます。

今年のテーマは、「自分に潜むリスクを知ろう! (Know Your Risk!)」です。心臓病や脳卒中の危険因子には、年齢や遺伝など自分ではどうにもできない因子と、高血圧、高コレステロール、高血糖、喫煙、肥満など、自分で改善できる因子があります。健康診断などで自分自身の持つリスクを知り、改善することで、健康で長生きをしましょうという提案です。

日本でも、日本心臓財団が中心となって、さまざまなキャンペーン活動を実施しています。

世界ハートの日 ～名古屋の集い～

「不整脈のQ & A：不整脈の悩みを解決します」

市民公開講座、心臓病相談室、AED講習会など

日 時：9月6日(土) 13時～17時

会 場：名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟講堂

定 員：300名

参加費：無料

第56回日本心臓病学会学術集会 市民公開講座

「心臓病とたたかう ～心不全の新しい治療」

日 時：9月6日(土)14時～16時

会 場：東京大学大講堂(安田講堂)

定 員：600名

参加費：無料

世界ハートの日「第2回心臓病を知るつどい」

日 時：9月13日(土)12時30分～16時(受付12時より)

会 場：愛知・一宮市民会館 参加費：無料

○講演会(大ホール13時30分～14時30分)

○そのほか、検査測定、救急蘇生法の講習、栄養教室、くすり相談、心臓病相談室、心臓リハビリ紹介など

血圧管理研究会20周年記念イベント「血圧管理ですこやか生活」

日 時：9月27日(土)12時～16時

会 場：東京・よみうりホール

参加費：無料(事前申込)

○講演会・コンサート 日野原重明

西京極スタジアム・キャンペーン

日 時：9月27日(土)16時～19時

会 場：西京極運動競技場(京都)

○腹囲測定メジャーとパンフレットを無料配布。

○Jリーグ・京都サンガとの協力イベント。

世界ハートの日・ハートノルディックウォーキング

日 時：9月28日(日)9時～12時

会 場：長野市・南長野運動公園

参加費：無料

○ポールを使ったノルディックウォーキングを体験。

大阪駅、枚方市駅 キャンペーン

○9月28日(日)、枚方市駅前(10時～12時)でメジャーとパンフレット配布、大阪駅構内「砂時計ひろば」(11時～16時)で血圧測定などのイベントを行います。

2008年健康ハートの日 今年もイベントを行いました!

「8月10日は健康ハートの日」にちなみ、今年も東京と豊橋で健康フェアが開催されました。今年はちょうど8月10日が日曜日にあたり、その当日に東京と豊橋が同時開催されました。

ハートの日・健康フェア ～ 東京・丸の内オアゾ

東京では、昨年同様、東京駅近くの丸の内オアゾ1階「OO(おお)広場」で開催され、通りがかりの人から毎年楽しみにしておられるリピーターの方まで、たくさんの方が訪れました。今回は、この健康フェアに協力していただいた各社スタッフの声をご紹介します。なお、各社よりたくさんの方々のスタッフの方々にお手伝いいただきましたが、紙面の都合上、お一人に代表してコメントをいただきました。



フクダ電子株式会社

過去2回の健康フェアでは、動脈硬化や血管年齢の各コーナーの混雑ぶりに比べると、AEDコーナーの人気は低く、今年も人が少ないのではと、始まる前は少し不安でした。

さあいよいよイベント開始の10時。来場する皆さんへ資料を配布、AEDはご存知ですか?との問い掛け、人形相手に心臓マッサージのアクションやAEDの操作をお見せしたりと、少しでも触れていただこうという気持ちが通じたのか、徐々にAEDを操作したいという方々が一人、また一人と訪れました。

その中でも家族で参加された小学生は、「お母さんが心臓が悪いから習おうと思った」と笑顔で話し、家族全員でAEDと心肺蘇生法を行って帰って行きました。また、心肺蘇生の実習や救命救急の実習を受講したけれども、その後は受けていないので、復習の意味でこの場に参加した方もいらっしゃいました。現在、

普及著しい装置や講習ではありますが、認知度が上がっている反面、1回の講習では不安を覚えるような方たちもいるということもこのコーナーを担当して知り得た事です。

愛する人、そして人を助けるという行為が少しずつ浸透し芽生えはじめていると感じたとともに、過去2年を超える盛況なコーナーになったことも付け加えさせていただきます。



オムロンヘルスケア株式会社

「心電図測定」と「体組成測定」、「血圧測定」の3種類の測定コーナーには、多くの方が足を運んでくださり、今年も大盛況となりました。

携帯型心電計を使用した心電図測定コーナーでは約150名の方に測定体験を行っていただきました。携帯型心電計は、家庭や外出先で動悸などの症状が起きたその時の心電図波形を自分で測定することができる医療機器です。測定後には、出力した心電図波形を手に、相談コーナーの先生方に見せて健康相談を行う方が大勢いらっしゃいました。

体組成測定コーナー、血圧測定コーナーでは、それぞれ200名以上の方に測定体験を行っていただきました。中には、今年の「ハートの日」で測定した体組成の

データシートを持参し、今年の測定データと比較している方もいらっしゃいました。小学生から80歳以上の方まで、まさに老若男女問わず大勢の方々に測定を行っていただくことができ、皆さまの健康に対する関心の高さを改めて再確認したと同時に、生活習慣病の予防・治療、疾病管理をサポートし、幅広く世界中の人々の健康づくりに貢献していきたいという想いを強くしました。



株式会社 ファンデリー

今回、ハートの日・健康フェアに栄養相談の担当として初めて参加させていただきました。

栄養相談の内容としては、「血压が高かったが食事は何に気をつけたらよいか」、「体脂肪が多かったがどうしたらよいか」等、フェアで測定した検査結果に対する質問が中心でしたが、テレビや雑誌等のメディア媒体から積極的に情報を取り入れられている方からは、こちらを考えさせられるような質問を投げかけられました。

全体を通して気になったのは、取り入れられている情報が「この食材がよい」、「こうすると効果がある」といったピンポイントの情報のみということです。メディアは不特定多数に情報発信していますが、対象者は決まっており、すべて自分に該当すると鵜呑みにすることは危険なのです。今後、情報の活用の仕方を伝えていくことも私たちの使命だと感じました。



様々な測定や医療相談と同時に栄養相談を行うイベントは、より具体的な個人に即したアドバイスが可能となるため、ぜひ来年も多くの方にいらっしやっただき、食事の面から健康づくりのためのサポートができればと思っております。



日本心臓財団副会長より

8月10日、日本心臓財団の「健康ハートの日」イベントが、丸の内オアゾ内の広場で行われました。例年のように、フクダ電子とオムロンの協力を得ましたが、とくに今年は配食会社の栄養士の方々の協賛があって、栄養相談のブースを設けることができました。

「健康ハートの日」イベントは、「自分の健康は自分で守ろう」活動の意義を、市民の皆さんと直接ふれあう中で、実感することを目的とします。この日、アンケートに回答くださったのは246人でした。半数が日本心臓財団ホームページなどを見て、このために来られた方々たちでした。最新の測定器に触れることができ嬉しかった、医療相談・栄養相談ともゆっくり話ができてよかった、もっと広い会場で、年に何回もやってほしい、各地でもしてほしい、と喜んでくれていました。

そして、AEDのデモが評判でした。AEDは今、日

本心臓財団が公共広告機構を通して普及活動を推進しており、まさに時期を得たものとなりました。AEDのデモにはたくさんの人たちが、若い人も、お年寄りも、参加していました。「街角でみかけるけど、使い方がわかった」といわれました。「備えるAEDから、使えるAED」へ、時代が移って行っていました。

ご協力いただいた皆さんの感想にも教えられました。触れてみて、説明されて、納得する、といいます。対象としているのは均質な不特定多数ではなく、一人一人に異なるニーズがある、という発見もありました。

貴重な体験でした。これを今後の活動にどのように生かしていくか、それが私たちの課題です。市民の皆さん、協力いただいた皆さん、大変、ありがとうございました。

(杉本恒明)

第9回 ハートの日 in 豊橋

豊橋でも恒例の第9回ハートの日イベントが、豊橋ハートセンターの協力により、ホテル日航豊橋で開催され、1600名の市民の方々が参加されました。今年のテーマは「運動と食事で心臓病を予防しよう！」で、ハート健診、ハート講演、ハートコンサートなど、さまざまなイベントが行われました。



ご支援ありがとうございます

本年度も賛助会員としてご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。

(敬称略：2008年5月～8月)

青沼 和隆	遠藤 政夫	片見 初江	久家 英子	千田 彰一	仲村 英一	平岡 昌和	望月 茂
青柳 成明	大内 尉義	勝村 達喜	草野 研吾	高野 照夫	中村 治雄	日和田邦男	安井 健二
足達 寿	大川眞一郎	加藤 逸夫	楠岡 英雄	高村 雅之	中村 真潮	福慶 逸郎	安井 昭二
新 博次	大島 文雄	加藤 貴雄	楠川 禮造	高本 眞一	中村 元行	福田 圭介	泰江 弘文
安孫子 保	大鈴 文孝	加藤 正明	久保田 徹	瀧下 修一	中村 芳夫	福田孝太郎	矢永 尚士
有田 眞	大槻 俊輔	金丸 憲司	甲谷 哲郎	竹越 襄	西川 章	細田 瑳一	柳瀬 義男
有馬 久富	大道 久	加納 達二	古賀 義則	竹下 彰	西村 重敬	細野 清士	山口 巖
飯沼 宏之	大村外志隆	鎌倉 史郎	坂本 三哉	武田 信彬	仁村 泰治	松浦 秀夫	山科 章
石井 當男	大和田憲司	唐澤 祥人	佐藤 桂	田中 繁道	野々木 宏	松尾 裕英	山村 憲
和泉 徹	岡崎 修	河合 忠一	佐藤 友英	田中 弘允	野村 雅則	松岡 博昭	家森 幸男
市川 悦	岡島 光治	川田 志明	澤井 廣量	田中 元直	橋場 邦武	松澤 佑次	横出 正之
伊藤 貞嘉	岡田幾太郎	川田 治義	志立 託爾	田中 興一	長谷部直幸	松田 暉	横山 斉
伊藤 七郎	岡田 了三	川名 正敏	柴田仁太郎	塚本 宏	羽田 勝征	松永 正人	吉永 正夫
伊藤 隆之	岡本 登	河村慧四郎	下川 宏明	辻 幸臣	馬場源一郎	松本 万夫	吉野 秀朗
今泉 勉	小川 聡	上松瀬勝男	白土 邦男	鄭 忠和	馬場 俊六	馬淵 宏	渡辺 滋
今村 聡	小川 勝	菊田 和子	杉澤 和美	道場 信孝	濱崎 秀一	三田村秀雄	渡辺 務
岩 喬	荻野 和郎	菊池健次郎	杉本 恒明	戸嶋 裕徳	早川 弘一	三迺 信一	渡部 良夫
上田 一雄	奥村 謙	岸田 浩	鈴木源次郎	友池 仁暢	林 輝美	宮崎 俊一	他匿名30名
上田 裕一	奥村 健二	北畠 顕	鈴木 常雄	外山 淳治	早野 元信	宮下 英夫	
上畑鉄之丞	小澤 利男	北村 和雄	鈴木 典夫	永井 良三	原田久美子	武者 春樹	
梅村 敏	尾前 照雄	木原 康樹	鈴木 洋通	長澤 一成	半田俊之介	村田 和彦	
江頭 健輔	鍵山俊太郎	木村 和雄	須磨 幸蔵	中野 赳	比江嶋一昌	村田 光延	
遠藤 勝男	柏木 厚典	木村 玄次郎	清野 精彦	永野 允	東 あかね	村山 正博	

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここに芳名を記して感謝の意を表します。(2008年5月～8月)

匿名		14,000円
村上 勝彦 様	愛知県名古屋市	8,640円
浦和レッズサポーター有志一同 様		19,588円
匿名		10,000円
田崎 穰 様	茨城県水戸市	10,000円
山本 勝利 様	大阪府大阪市	1,000円
小林 とよ 様	茨城県水戸市	20,000円
佐川 歌子 様	茨城県水戸市	30,000円
匿名		10,000円
佐川 清 様	茨城県常陸太田市	10,000円
株式会社東横イン 様	東京都大田区	100,000円
塚本 新一郎 様	茨城県潮来市	14,400円
小川 勝 様	東京都中野区	10,000円
橋本トシエ 様	茨城県水戸市	10,000円

匿名	300,000円
匿名	150,000円
匿名	100,000円

●心臓財団からのお願い●

～ご寄付ならびに賛助会にご加入～

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられています。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられております。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

郵便振替口座 00140-3-173597
宛て先 財団法人日本心臓財団